

テーマ

浦富海岸に分布する海食洞・海食洞門の形成メカニズムの解明
—ジオパークの学術研究成果をもとにした地域活性化にむけて—

研究者

徳田 悠希(公立鳥取環境大学 環境学部)

概要

鳥取県岩美町の浦富海岸では、千貫松島や龍神洞に代表される海食洞や海食洞門などが、美しい地形的景観を構築しており、山陰海岸ジオパークの大きな見所のひとつとなっている。しかし、これまで海食洞門や海食洞の学術的な調査はほとんど行われていない。そこで、(1)それらの地形がいつごろ、どのように形成されたのか、(2)暗黒の海食洞内にどのような生態系が成立しているのかを明らかにする。

研究内容

浦富海岸の海食洞・海食洞門

- 波の侵食による海に面した洞窟
- いつ・どのように形成されたのか不明
- 海食洞内にどのような生物がいるのか不明



龍神洞（海食洞）



千貫松島（海食洞門）

海食洞・海食洞門の形成メカニズムと生物多様性を解明

研究の3つのポイント

- 潜水調査による海食洞・海食洞門の地形地質調査しどのように形成されているのかを調査
- 暗黒の洞窟内という特殊な環境でどのような生物が、どのように生きているのかを調査。
- 研究により得られた学術成果の地域での有効的な活用方法を検討



期待される成果

- 世界ジオパークである浦富海岸の学術的な貴重性・重要性を理解できる
- 浦富海岸の地形・生物の保全に活用
- 研究成果を学校教育活動、ジオツアーなどの地域活動に活用し、地域活性化に貢献



龍神洞のジオツアー

応用分野

観光業, 学校教育, 地域活性化, 環境教育

連絡先

公立鳥取環境大学 環境学部 講師 徳田悠希
(tokuda-y@kankyo-u.ac.jp 0857-32-9117)